

事業名 博物館アウトリーチ事業「ちいさな・はくぶつかん」		評価実施者		所 属 美術自然史館	
		職・氏名		主査 半井 仁	

事業の概要	開始年度	根拠法令等					特定財源				
	実施方法	☒ 直接 ☐ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担金 ☐ その他〔 〕									
	目 的	博物館に収蔵する資料、調査研究の成果をわかりやすく市民に伝えるとともに、博物館の活動や役割を広く市民に紹介する。									
	事業内容	博物館がこれまで取り組んできた活動、事業等により蓄積した成果を「博物館体験メニュー」として取りまとめ、学校や児童館などのグループに周知し、学習や活ドア腕の活用に務める。りんごの開花から収穫までを題材にした「りんごの1年」など4事業を学校・児童館で実施し、述べ218人の子どもたちが参加した。									

事業コスト	区 分	16 年度	17 年度	18 年度	19 年度	20 年度	特 記 事 項
	事業費(A)				4		
	うち一般財源				4		
	人件費(B)						
	総コスト(A)+(B)	0	0	0	4	0 ※単位：千円	

実績と成果	区 分	単位	H16	H17	H18	H19	H20	左記以外の19年度の実績・成果	
	事業の実績 (アウトプット)	1							
		2							
		3							
	事業の成果 (アウトカム)	1							
		2							
		3							

評価項目	点数	判 定 及 び 説 明 ・ 考 察	
1 適応性	8	①市民ニーズや社会経済情勢の現状に適しているか。	■ 4 □ 3 □ 2 □ 1
		②事業を市が行う必要性があるか。	■ 4 □ 3 □ 2 □ 1
2 有効性	8	③事業の目的に照らして効果的な手法か。	■ 4 □ 3 □ 2 □ 1
		④施策や運営方針等の目的の実現に寄与しているか。	■ 4 □ 3 □ 2 □ 1
3 目標達成度	6	⑤目標の水準は適切か。	□ 4 ■ 3 □ 2 □ 1
		⑥計画通りに目標を達成できたか。	□ 4 ■ 3 □ 2 □ 1
4 経済性効率性	8	⑦コストは縮減しているか。	■ 4 □ 3 □ 2 □ 1
		⑧事務は効率的に行われているか。	■ 4 □ 3 □ 2 □ 1
事業に必要な教材費等は参加団体に負担してもらっており、コストの縮減に務めている。			

総合評価	合計	30	ランク (A～E)	上記評価を踏まえた事業の課題	より一層の利用促進を図るため、メニュー・内容等を充実させるとともに、PRも積極的に 行う必要がある。
	↓ 100 点 換算	94			
		30		☒ 拡充 ☐ 縮小・統廃合 ☒ 質的向上 ☐ スピートアップ ☐ 検証 ☐ 現状維持	

◎外部評価

評価項目	点数	判 定	点検・評価に関するコメント
1 適応性	8	① ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1 ② ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1	・学校と連携するのであれば、早い時期に調整しなければ難しい。 ・学習指導要領や授業の内容なども研究し、授業で活用できるメニューも考える必要がある。 ・来年度学習指導要領が改訂になり、博物館の役割も重要になってくる。実際は学校との連携は難しいものがある。 ・自治体が運営する努力は大変なものだが、他からの力も借りながら盛り立ててほしい。
2 有効性	8	③ ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1 ④ ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
3 目標達成度	6	⑤ □ 4 ■ 3 □ 2 □ 1 ⑥ □ 4 ■ 3 □ 2 □ 1	
4 経済性効率性	8	⑦ ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1 ⑧ ■ 4 □ 3 □ 2 □ 1	
合計	30	↓ 100 点 換算	
	94	A	